

「運ぶ企業」から「パートナー企業」へ。 成長を告知する、斬新さ。

株式会社マルチ輸送センター 静岡県浜松市

静岡県浜松市に1971年設立。創業から37年間、「安心」と「真心」を届ける運送会社として、地元の人々からあつい信頼を得ている。現在では本社を含め、東海・中部地区に5つの営業所をかまえる。ただ物を右から左へ運ぶだけではなく、荷主企業からの信頼を得て、意見交換のできるパートナーとして、3PL（サードパーティロジスティクス）を開始。運送後の組み立てや倉庫レンタルサービスなどを展開し、新しい運送業として業務拡大、サービス向上を目指している。

ユニフォームの変更は今回で3回目。経費削減の対象になりがちなユニフォームをあえて経営戦略のツールとして重要視している、新しい考え方の企業である。



ユニフォームは 経営戦略の一部。

物流業界では今、ただ物を運ぶだけではなく、荷主企業のパートナーという立場で在庫管理、輸送管理、流通加工などを行う企業が増え始めている。静岡県に本社を置くマルチ輸送センターも、その3PLを実施している企業である。

この3PL、荷主からしてみると「物を運んでくれる企業」から「事業戦略に関わるパートナー企業」に変わるイメージだ。マルチ輸送センターでは、その新しいポジションを象徴するべく、さらなる発展を願って、この物流業界らしからぬ斬新なユニフォームが作られた。当社にとって、ユニフォームのデザイン変更は、今回で3回目となるが、いまだかつてないほど打ち合わせ回数を重ねて作られ、納得のいく自信作となった。



初代から三代目までの変遷。

そんなマルチ輸送センターも、第1番目のユニフォームは青地に白色の社名が入ったごくごくシンプルなポロシャツだった。当時は「社名が印字されていれば十分」という考え。しかしそれでは企業イメージまで伝えることはできず、ユニフォームを企業広告として100%活用できていた、とは言い切れない。

そこで第2番目のユニフォームは、第1番目のユニフォームの反省点を生かし、よりマルチ輸送センターらしい、さわやかさと親しみやすさが表現された。それは、エメラルドグリーン×オレンジのコーポレートカラーを取り入れたポロシャツで、当社のトラックや看板と同じ色合いである。これにより、遠目からでもマルチ輸送センターのスタッフだと見分けがつくようになり、顧客のみならずスタッフからも好評だったそうだ。

では、このままずっとこのユニフォームで良いのだろうか？「せっかくイメージが定着したので、変えなくてもよい」という社内の声もあったが、3PLの新サービスをもっと幅広く告知するきっかけとして、ひいては物流業界全体のイメージを一新させるべく、第3番目のユニフォームを制作することとなったのである。

